

追跡!

ありやあどげなつた?

尾原ダム完成から10年

ありやあどげなつた?

「NPO法人さくらおろち」の活動

NPO法人さくらおろち

理事長 亀山一敏

設立 平成23年3月

水の縁推進事業

361万円(令和4年度)



事務局長 田川 裕り 容理さん

NPO法人さくらおろちは、さくらおろち湖周辺の施設・地域住民・関係団体・企業・行政機関にご協力いただきながら、尾原ダム・さくらおろち湖周辺地域の活性化と斐伊川の上流(奥出雲町)、中流(雲南市・出雲市)、下流(松江市)との交流事業、景観保全、情報発信など地域活性化に取り組む団体です。

近年、奥出雲町では小学校(2校)において森林保全の大切さを伝える出前授業や幼児園を対象とした遠足誘致など、環境教育を通して尾原ダムの役割を伝えることに力を入れています。

これからも、様々な方よりご協力をいただきながら、尾原ダムの周辺と奥出雲町の魅力を知ってもらう活動を続けていきたいと思っています。



ダムの見える牧場(遠足誘致)



みーもスクール(出前授業)

事業名 尾原ダム建設事業

総事業費 1260億円

供用開始 平成24年

尾原ダムの役割

■洪水対策

尾原ダムで流量調整をおこない、斐伊川放水路とあいまって斐伊川下流部の洪水対策を行っています。



※令和3年7月豪

雨において、尾原ダムは洪水対策のため斐伊川の水をダム湖へ貯留し、斐伊川下流の木次観測所では32cm、松江観測所では23cmの水位低減効果が認められました。(国土交通省発表)

■河川環境の保全

ダム下流で利用されている用水の安定供給に寄与するとともに、河川に生息・生育する動物・植物の保護のために必要な水を流しています。

■水道水の供給

水不足が慢性化している島根県東部地域の3市(雲南市・出雲市・松江市)に対し、水道水を供給しています。